



教員のための博物館の日

教員のための博物館の日とは

博物館には学校の授業に役立つ学習資源がたくさんあります。
教員のための博物館の日は幅広い層の先生にまずは来館してもらい、
博物館に親しみをもってもらうこと、学習資源を知ってもらうことをねらいとした事業です。
2008年に国立科学博物館が始め、全国の博物館に輪が広がっています。

開催のメリット



学校による 幅広い博物館利用に つながる

- 博物館を知ってもらうことで、博物館利用に対する敷居を低くすることができます。
- 博物館の様々な学習資源を多くの先生に伝えることができます。



先生からの意見が 聞きやすい

- 様々な教科や校種の先生と顔を合わせて話をすることで、先生の考えや博物館に対する要望などを聞くことができます。

学習指導要領にも「学校と博物館」の連携が、一層強化されて記載されました。

博学連携を 促進



を開催しませんか？

過去の開催例

教員のための博物館の日には決まった形があるわけではなく、各施設の特徴を生かしたプログラムが展開されています。期間も半日から複数日まで様々です。



学校団体向けプログラム体験
(国立科学博物館)



教員向け講演会
(国立科学博物館)



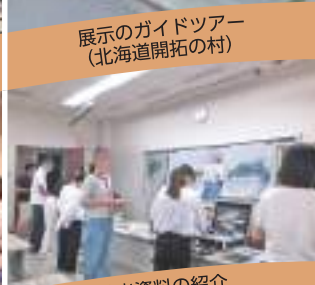
展示のガイドツアー
(北海道開拓の村)



バックヤードツアー
(九州歴史資料館)



体験スタジオ見学
(NHK放送博物館)



貸出資料の紹介
(大阪市立自然史博物館)



開催パターン例

単一館での開催もできますし、近隣の社会教育施設等と連携することで、地域の学習資源や教育力をさらに充実させ、効果的に博物館の持つ魅力をアピールすることができますと考えています。

パターン1

連携する地域内の博物館等で同時開催



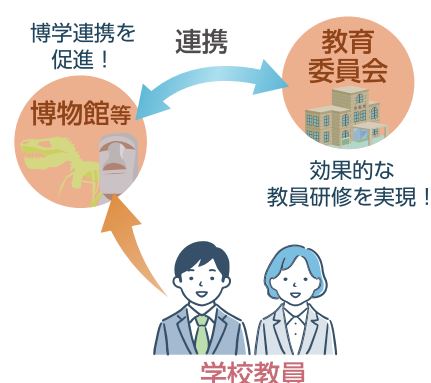
パターン2

年度毎に会場館を持ちまわり開催



パターン3

教員研修と併せて開催



国立科学博物館からのサポート

- 文部科学省への後援について開催館園分を申請
 - 各種メディア、広報媒体での広報
 - 「教員のための博物館の日」オリジナルステッカー提供
(活用例：参加者の衣服に貼っていただく)
 - 国立科学博物館オリジナルペーパーモデル提供 ※
(活用例：参加者アンケートの回答者へプレゼント)
 - 国立科学博物館より講師派遣やブース出展 ※
- ※については、新規開催館園を優先といたします



ステッカー（見本）



ペーパーモデル（見本）

開催するには

A 先生向けの特典を考える

たくさんの先生が参加してくれるように無料入館やショップの割引、お土産など先生だけの特典があると良いかもしれません。

C 事業を整理する

例えば「先生が楽しめる」、「学校で使える」、「博物館で使える」等のグループに分類したり、先生がすぐ使えるように学習指導要領なども意識して整理してみましょう。

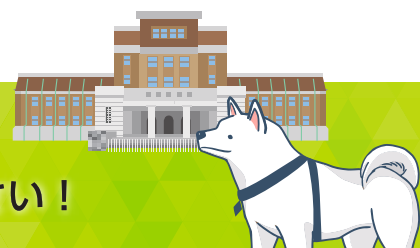
B 先生向け・学校向けの学習素材を集める

既存の先生向け・学校向けの展示や教材、学習プログラム等を集めてみましょう。

D その他の学習資源から探してみる

子どもが楽しんで参加しているプログラムや博物館スタッフの仕事の中にも授業のヒントがあるかもしれません。

前年度ちらしや報告書等の資料をお送りいたします。
まずは下記担当までお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！



【お問い合わせ】

国立科学博物館 学習課

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

Tel : 03-5814-9105 (直通) E-mail : museumforteachers@kahaku.go.jp



国立科学博物館